

当社初「サステナビリティボンド」の発行条件決定

環境問題・社会課題双方の解決に貢献する第5回・第6回無担保社債の発行について

東急株式会社

当社は、環境問題・社会課題双方の解決に貢献する事業の資金調達手段として、当社初となる「サステナビリティボンド」の発行条件を本日決定しました。

サステナビリティボンド発行の詳細は下記のとおりです。

記

社債の名称	東急株式会社第5回無担保社債 (サステナビリティボンド) (社債間限定同順位特約付)	東急株式会社第6回無担保社債 (サステナビリティボンド) (社債間限定同順位特約付)
発行総額	100億円	100億円
年 限	5年	10年
各社債の金額	1億円	
払込金額	額面100円につき金100円	
償還価額	額面100円につき金100円	
利 率	年0.110%	年0.300%
募集期間	2020年12月4日	
払込期日	2020年12月10日	
募集方法	一般募集	
償還期日	2025年12月10日	2030年12月10日
利 払 日	毎年6月10日および12月10日	
担 保	担保は付さない	
財務代理人	株式会社三菱UFJ銀行	株式会社みずほ銀行
引 受 会 社	野村證券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、みずほ証券株式会社、ゴールドマン・サックス証券株式会社を主幹事とする引受証券団	野村證券株式会社、大和証券株式会社、みずほ証券株式会社、SMBC日興証券株式会社を主幹事とする引受証券団
取 得 格 付	AA- (株式会社日本格付研究所)、A+ (株式会社格付投資情報センター)	
外部評価(セカンドオピニオン)	新たに策定した「サステナビリティボンド・フレームワーク」について、ヴィジオアイリス(Vigeo Eiris)より、サステナビリティボンド・ガイドライン等の原則との適合性に対する第三者評価を取得	
対象プロジェクト(資金使途)	「新型車両」、「鉄道関連インフラ整備(ホームドアなど)」、「南町田グランベリーパーク」 「サテライトシェアオフィス(NewWork)」に要した支出のリファイナンスに充当予定	
投資を表明していただいた投資家一覧	アセットマネジメント One 株式会社、石川県信用農業協同組合連合会、株式会社かんぽ生命保険、株式会社七十七銀行、第一生命保険株式会社、学校法人東京農業大学、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社、東京シティ信用金庫、学校法人中村産業学園、長野信用金庫、名古屋市信用保証協会、日本私立学校振興・共済事業団、浜松磐田信用金庫、パインブリッジ・インベストメント株式会社、福島信用金庫、Manulife General Account Investments Singapore、三重県信用農業協同組合連合会、明治安田アセットマネジメント株式会社 (2020年12月4日現在、五十音順)	

■資金使途の詳細

サステナビリティボンドにて調達した資金は、主に以下の施策に充当する予定です。

対象事業	SDGs	概要・期待される効果
<p>「新型車両」 2020系、6020系、3020系の導入</p>  	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p>当社グループは、節電や環境への配慮と混雑緩和・快適性向上の両立に取り組み、低炭素・循環型社会に向けた取り組みとして、新型車両の導入を進めています。</p> <p>田園都市線の新型車両2020系は、環境に配慮し、次世代半導体素子を用いた制御装置による主電動機の効率駆動や、車内の全照明と前照灯・尾灯へのLED灯の採用により、使用電力を旧型車両（8500系）と比べ約50%削減しています。新型車両は電力使用量削減だけでなく、空気清浄機の設置や、座席をハイバック仕様とすることで快適性向上を図るとともに、ドア上に配置するデジタルサイネージでは多言語案内の充実化、ニュースや天気予報など充実した情報サービスを提供しています。また安全面では、車両機器を常に監視できる大容量情報管理装置を採用することで、車両故障の未然防止を図り、運行のさらなる安定化を実現しています。2020系と同様、大井町線に6020系、目黒線に3020系を導入しています。</p> <p>2020系は2019年度までに15編成を導入しています。今後も旧型車両の置換えを進めていきます。</p>
<p>「鉄道関連インフラ整備」 (ホームドアなど)</p>  <p>ホームドア</p>  <p>センサー付固定式ホーム柵</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>当社グループは、あらゆるお客さまにとって安全・安心な鉄道を目指し、事業の根幹である「安全」を高いレベルで確保することに努めています。</p> <p>ホーム上の安全対策として、ホームにおける転落事故「0」を目指し、2014年度から、東横線、田園都市線、大井町線の全64駅でホームドア整備を進めてきましたが、2019年度に大手民鉄において初となるホームドア・センサー付固定式ホーム柵の100%設置を実現しました(世田谷線、こどもの国線を除く)。</p> <p>これにより、ホームにおける転落件数は5年間で10分の1程度に減少し、お客さまの安全を守るとともに線路転落等の輸送障害による運転支障時分の低下など、安定運行にも大きな効果を発揮しています。当社グループでは引き続き、鉄道事業の強靱化に向けた「『安全』『安心』『快適』のたゆまぬ追求」に取り組み、設備更新、先端技術の導入や、駅の快適性向上を推進していきます。</p>
<p>「南町田グランベリーパーク」</p>  	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  <p>15 陸の豊かさを保つ</p> 	<p>2019年11月にまちびらきをむかえた「南町田グランベリーパーク」は、町田市と官民連携で、駅と商業施設、都市公園などを一体的に再整備した「新しい暮らしの拠点」です。</p> <p>「まちのぜんぶが“パーク”となる」というコンセプトのもと、既存のまちの構造を全面的に見直し、エリア一体を歩車分離かつバリアフリーでシームレスに繋がる歩行者ネットワークを整備し、“歩いて楽しいまち”を構成しました。また、エリア全体でグリーンインフラを生かしたランドスケープデザインを取り入れています。</p> <p>まちの玄関口となる駅舎は、大屋根や植栽など高揚感を感じられるデザインを施しながら、効率的な雨水の再利用や、照明計画におけるエネルギー効率化を図っています。</p> <p>このような取り組みが評価され、国際的な環境認証制度 LEED® (Leadership in Energy and Environmental Design)の取得に取り組み、駅舎部分については2020年6月に「LEED NC(新築部門)」のゴールド認証を、申請エリアについては7月に「LEED ND(まちづくり部門)」のゴールド認証を取得しました。</p> <p>駅舎建築物としてのゴールド認証の取得、駅舎を含む開発エリアのゴールド認証の取得ともに、国内初です。</p>

「サテライトシェアオフィス
(NewWork)」



「NewWork」は、当社が運営する業界最大規模の店舗数を誇る法人企業相乗り型サテライトシェアオフィスです。

首都圏のみならず日本全国に店舗網を拡大しており、新しい働き方への対応、ワークライフバランスの推進、生産性の向上、通勤ストレスの軽減など、その時々ニーズに応じた、より快適で働きやすい環境の実現を目指しています。(2020年11月末時点 直営店舗数:77店舗、提携店含めた合計店舗数:211店舗)

当社グループでは、日本の社会課題である人口構成の変化から生じる少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少、出産・育児により離職する女性の割合の高さ、また、家族の介護と就労継続の両立の困難などを、日本の労働市場における解決すべき社会課題としてとらえています。

これらの解決策として、利便性が良い都心部および郊外の駅周辺にサテライトシェアオフィスを設置し快適な執務環境を提供することで、移動時間の短縮による業務効率化や、自宅近くでの執務やラッシュ時間帯を避けた通勤による業務の質の向上、育児介護などによる時間的制約がある方の働き方に対応した、多様で柔軟な働き方が可能になります。

当社はNewWorkにより、ビジネスパーソンの働く「時間」と「場所」の柔軟化を推進し、ワークスタイル・イノベーションに貢献します。

※「サステナビリティボンド・フレームワーク」および外部評価(セカンドオピニオン)詳細については以下をご参照ください。

URL : https://www.tokyu.co.jp/ir/upload_file/m003-m003_11/sustainability-bond-framework.pdf

URL : https://www.tokyu.co.jp/ir/upload_file/m003-m003_11/opinion.pdf

(参考)2020年9月30日(水)付けニュースリリース『当社初!「サステナビリティボンド」を発行します』

URL : https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid=post_260.html

以 上